

NEC

CLUSTERPRO[®] FastSync[™] Option
for Windows Ver8.0

UL1034-A0D
ULM1034-A0D

セットアップカード

ごあいさつ

このたびは、『CLUSTERPRO® FastSync™ Option for Windows Ver8.0 』[以下『FastSync Option』と省略します)をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本書は、お買い上げいただいたセットの内容の確認、セットアップの内容を中心に構成されています。FastSync Option をお使いになる前に必ずお読みください。

なお、システムを構築するにあたって「CLUSTERPRO システム構築ガイド」を必ず参照してください。「CLUSTERPRO システム構築ガイド」は、『CLUSTERPRO CD』のパッケージに含まれる CD-ROM に格納されています。

Microsoft®, Windows®, は米国 Microsoft 社の登録商標です。

その他のシステム名、社名、製品名はそれぞれの会社の商標及び登録商標です。

目次

| | |
|--------------------------------|----------|
| 1. パッケージの中身を確認してください。 | 1 |
| 2. 製品構成 | 2 |
| 3. セットアップ | 3 |
| 3.1. インストールの前に | 3 |
| 3.2. インストール順序 | 4 |
| 3.3. インストール | 5 |
| 4. 注意事項 | 9 |
| 4.1. FastSync Option の機能上の注意事項 | 9 |
| 4.2. システム構築ガイド | 9 |

1.パッケージの中身を確認してください。

FastSync Option のパッケージ内容は次の通りです。添付品がすべてそろっているか確認してください。

- ソフトウェアのご使用条件
- ソフトウェアライセンスキー証明
- セットアップカード(本書)

2.製品構成

FastSync Option はライセンス製品として提供されます。

FastSync Option をご使用になるためには、まず、クラスタシステムを構成するサーバに、CLUSTERPRO LE/LX をセットアップしていただく必要があります。

CLUSTERPRO LE/LX のセットアップに関しては CLUSTERPRO LE/LX のセットアップカードおよび「CLUSTERPRO システム構築ガイド」を参照してください。

3. セットアップ

ここでは、FastSync Option のセットアップ方法について説明します。FastSync Option をセットアップする前に、必ず、「4.注意事項」を参照してください。

3.1. インストールの前に

■ 動作環境は整っていますか

FastSync Option は次の環境で動作します。

| FastSync Option 動作環境 | |
|----------------------|--|
| ハードウェア | CLUSTERPRO LE/LX for Windows Ver8.0 が動作するサーバ |
| OS | CLUSTERPRO LE/LX for Windows Ver8.0 が動作する OS |
| 必要メモリ容量 | 1.0M バイト |
| 必要ディスク容量 | 0 (ライセンス登録のみのため、新たなディスクスペースは必要としません) |

■ CLUSTERPRO LE/LX for Windows Ver8.0 がインストールされていますか

FastSync Option をセットアップするためには、CLUSTERPRO LE/LX サーバがインストールされている必要があります。CLUSTERPRO LE/LX がインストールされていない場合は、FastSync Option のセットアップはできません。

■ クラスタ構成の両サーバが起動していますか

FastSync Option のセットアップの際には、クラスタ構成の両サーバが起動されている必要があります。

3.2. インストール順序

FastSync Option は、CLUSTERPRO LE/LX がインストールされた後であれば、いつでもセットアップが可能です。また、運用を止めずにセットアップができます。ただし、FastSync Option の機能を有効にするためには、セットアップ後に両サーバをリブートする必要があります。

■ 新規に CLUSTERPRO LE/LX とともにセットアップする場合

- ① 両サーバに CLUSTERPRO LE/LX をインストールしてください。
- ② 両サーバを再起動する前に FastSync Option を「3.3 インストール」の手順でセットアップします。
※ このセットアップ作業は両方のサーバで行ってください。
- ③ 両サーバを再起動します。
- ④ 以降、CLUSTERPRO LE/LX のクラスタ生成手順を行ってください。

■ すでに運用中の CLUSTERPRO LE/LX にセットアップする場合

- ① FastSync Option を「3.3 インストール」の手順でセットアップします。
※ このセットアップ作業は両方のサーバで行ってください。
- ② 両サーバをリブートしてください。クラスタが正常な場合は、クラスタシャットダウン・リブートを、ダウン後再起動サーバは、スタートメニューからシャットダウン・リブートを行ってください。
- ③ クラスタ復旧が必要な場合は、復旧手順を行ってください。ただし、この時点でのミラー構築では、FastSync Option による高速化は機能しません。

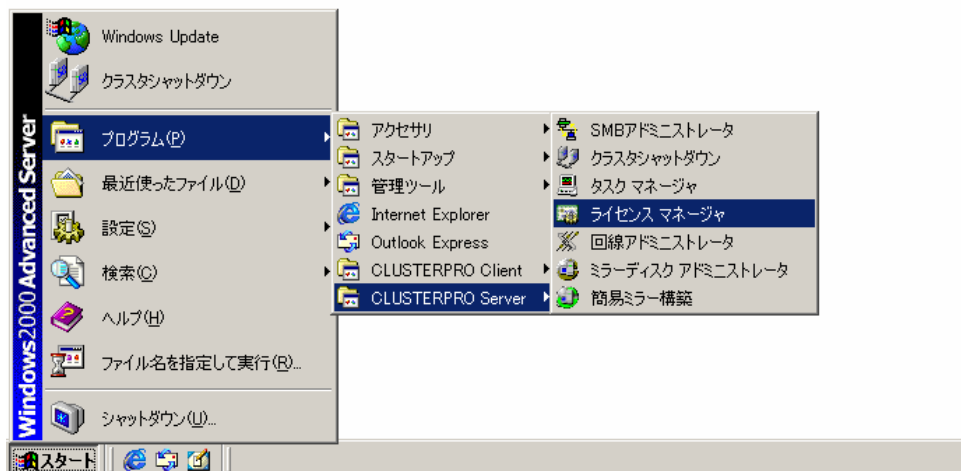
■ サーバ交換時のセットアップの場合

- ① 交換するサーバに CLUSTERPRO LE/LX をインストールしてください。
- ② インストール後、サーバを再起動します。
- ③ 交換するサーバでミラーディスクアドミニストレータを起動し、「サーバ交換」を行ってください。
- ④ サーバを再起動します。
- ⑤ CLUSTERPRO マネージャから「サーバ交換」を行ってください。
- ⑥ 交換するサーバで、FastSync Option を「3.3 インストール」の手順でセットアップします。
- ⑦ セットアップ後、インストールしたサーバを再起動してください。
※ スタートメニューからシャットダウン・リブートを行ってください。

3.3. インストール

インストールは、Administrator または、Administrator 権限を持つユーザで行ってください。下記ア)～キ)の手順に従い、両サーバで行ってください。

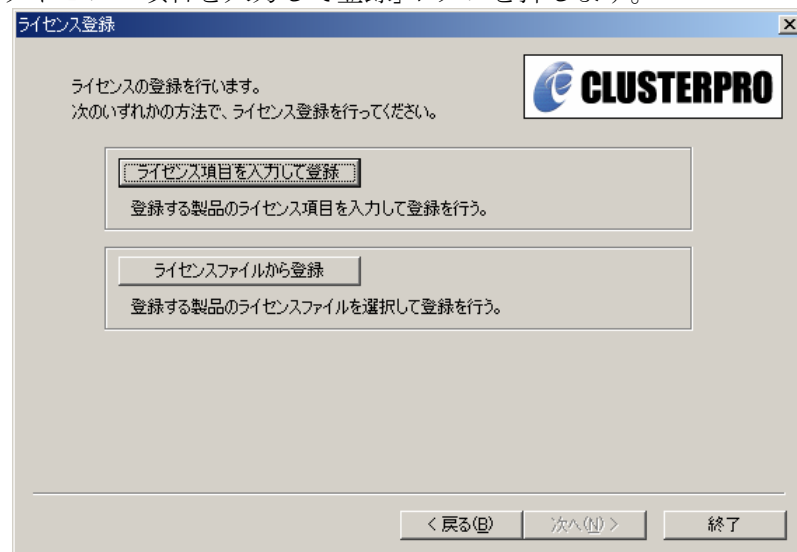
- ア) CLUSTERPRO サーバがインストールされている状態から、[スタート]－[プログラム]－[CLUSTERPRO Server]から、[ライセンス マネージャ]を選択してください。



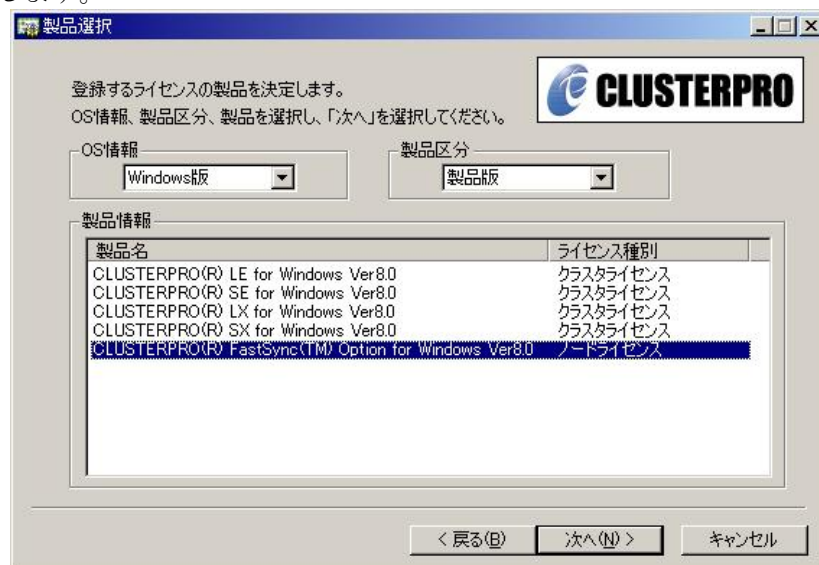
- イ) [登録] ボタンを押します。



ウ) [ライセンス項目を入力して登録]ボタンを押します。



エ) 「製品区分」から「製品版」、「製品情報」のメニューから「CLUSTERPRO(R) FastSync(TM) Option for Windows Ver8.0」を選択し、[次へ]ボタンを押します。



- オ) 「CLUSTERPRO(R) FastSync(TM) Option for Windows Ver8.0」のライセンスシートに記載されている、シリアル No とライセンスキーを入力し、[次へ]ボタンを押します。



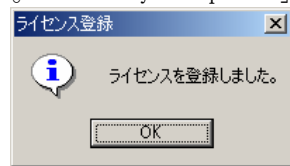
<注意>

サーバ毎に別々のシリアル No とライセンスキーを入力してください。両サーバに同じシリアル No とライセンスキーを入力すると、「CLUSTERPRO(R) FastSync(TM) Option for Windows Ver8.0」は動作しません。

- カ) 登録内容を確認し、[次へ]ボタンを押します。



キ) メッセージ「ライセンスを登録しました。」が表示されることを確認します。「FastSync Option」のインストールは完了しました。



4.注意事項

4.1. FastSync Option の機能上の注意事項

FastSync Option の機能により、ミラー構築が高速化されるのは、ミラーセット間の差分データが存在する場合のみです。したがって、次のケースでは高速化されません。

- 新規ミラーセットの最初のミラー構築時

差分が 100%と同等です。最初のミラー構築が完了したのち、次回のミラー構築から高速化されます。

- FastSync Option のセットアップ後、リブート前のミラー構築

FastSync Option はセットアップ完了後のリブート前は、FastSync Option は有効になっていません。リブート後のミラー構築が完了したのち、次回のミラー構築から高速化されます。

- FastSync Option のセットアップ時に不一致ミラーセットのミラー構築時

FastSync Option が有効になった時点ですでに不一致であったミラーセットの差分データを生成できません。ミラー構築が完了したのち、次回のミラー構築から高速化されます。

- 両サーバダウンからの復旧によるミラー構築

差分データの保証ができないため、差分データを元にミラー構築を高速化することができません。ミラー構築が完了したのち、次回のミラー構築から高速化されます。

4.2. システム構築ガイド

その他の注意事項に関しては「CLUSTERPRO システム構築ガイド」を参照してください。